

平成 1 8 年 4 月 1 日 ~ 平成 1 9 年 2 月 2 0 日

1 実践内容等

日 時	場 所	実 践 内 容 等	対 象
4月30日(日)	第二中学校	第二中学校体育祭 町別対抗リレーへの参加	小学56年生・生徒 小中教職員
5月15日(月)	第二中学校	合同研修会(全体会, 部門部会) 今年度の方針・方向確認	小中教職員
6月11日(日)	第二中学校	二中校区おやじの会 (プールのペンキ塗り)	二中校区PTA 生徒, 児童,
10月22日(日)	広谷小学校	(噴水の掃除と樹木の剪定)	地域の方
7月7日(金)	西小学校 東小学校 広谷小学校 第二中学校 第二中学校	図工 「教科・学び方」部会 家庭科 乗り入れ授業(TT) 国語 および研修 「キャリア・道徳」部会研修 「生徒指導」部会研修	小中教職員
8月4日(金)	文化センター	全体研修 講演「一貫校で進める小中一貫教育の取り組み」 広島大学大学院教育学研究科 池野範男教授(検討会議委員長) 説明「統合小中学校について; 施設設備」 府中市教育委員会・(株)日本設計	小中教職員
8月8日(火)	文化センター	一中との合同研修 「教科教室型の学校運営」 講師 千葉市立打瀬中学校教務主任 堀米 宏教諭	中学校教職員
8月9日(水)	教育センター TAMスクエア	部門別研修会 「教科・学び方」部会 ; 指導案検討 「生徒指導」部会 ; 連携指導七項目について 「キャリア・道徳」部会; カリキュラムづくり	
9月7日(木)	岩谷小学校	乗り入れ授業(5.6年英語活動)	小中教職員
3月6日(火)	岩谷小学校	乗り入れ授業(5.6年英語活動) 東・西・広谷については通年	
9月29日(金)	西小学校	部門別研修会 「教科・学び方」部会(英語)	小中教職員
10月7日(土)	文化センター	第二中学校文化祭へ 東小3、4年生合唱参加	児童・生徒
10月31日(火)	岩谷小学校	公開研究会授業公開	小中教職員
11月1日(水)	広谷小学校	公開研究会授業公開 乗り入れ授業(6年算数)	児童・生徒 保護者
11月2日(木)	西小学校	公開研究会授業公開 乗り入れ授業(5年国語)	
11月8日(水)	東小学校	公開研究会授業公開 乗り入れ授業(6年英語活動)	
11月15日(水)	第二中学校	公開研究会授業公開 乗り入れ授業 (西小6年英語活動)	
11月24日(金)	第一中学校	府中市小中一貫教育研究大会 パネル展示・報告	小中教職員 保護者
1月15日(月)	東小学校	部門別研修会 「教科・学び方」部会(理科)	小中教職員
1月24日(水)	東小学校	府中市小中一貫教育検討会議 授業公開(5年理科)	小中教職員

1月29日(月)	第二中学校	新入生説明会 体験授業	小6年生、保護者 小中教職員
2月6日(火)	第二中学校	乗り入れ授業(小中、TT)	小中教職員
2月16日(金)	第二中学校	1年国語 1、2年技術(障害児学級)	
5月9日(火)	各小中学校 校門ほか	小中合同スマイルあいさつ運動 (登校指導)	小中教職員、PTA、 生徒会児童会
7月11日(火)			
10月11日(水)			
12月12日(火)			
2月13日(火)			
6月1日(木)	(予定)	小中一貫だより発行	小中保護者向け
7月20日(木)			
11月1日(水)			
12月4日(月)			
3月1日(木)			
5月26日(金)	二中	東小 (かけ橋の日)	小中教職員相互乗り 入れ
5月29日(月)	東小	二中 "	
6月14日(水)	岩谷小	二中 "	
6月23日(金)	二中	岩谷小 "	
7月10日(月)	広谷小・二中	二中・広谷小 "	
9月29日(金)	二中	西小 "	
10月16日(月)	二中	広谷小 "	
10月23日(月)	西小	二中 "	
10月24日(火)	東小・二中	二中・東小 "	
11月16日(木)	二中	広谷小 "	
11月17日(金)	二中	西小 "	
12月4日(月)	西小	二中 "	
12月5日(火)	二中	東小 "	
12月6日(水)	二中	広谷小 "	
12月12日(火)	二中	西小 "	
1月18日(木)	二中	広谷小 "	
1月19日(金)	二中	東小 "	
1月22日(月)	広谷小	二中 "	
1月25日(木)	二中	岩谷小 "	
1月26日(金)	岩谷小	二中 "	
1月13日(火)	広谷小・二中	二中・広谷小 "	
4月11日(火)	第二中学校	第1回 事務局会	各学校事務局員
5月9日(火)	第二中学校	第2回 "	"
6月20日(火)	第二中学校	第3回 "	"
7月28日(金)	第二中学校	第4回 "	"
9月4日(月)	第二中学校	第5回 "	"
10月2日(月)	第二中学校	第6回 "	"
10月19日(木)	第二中学校	第7回 "	"
11月27日(月)	第二中学校	第8回 "	"
12月26日(火)	第二中学校	第9回 "	"
1月22日(月)	第二中学校	教育研究担当者会	教育研究主任
1月8日(木)	第二中学校	第10回 事務局会	各学校事務局員
2月26日(月)	第二中学校	第11回 " (予定)	"
8月1日(火)	教育センター	第1回 運営委員会	学校長
10月18日(火)	教育センター	第2回 "	"
2月15日(水)	西小学校	第3回 "	"
2月20日(火)	東小学校	第4回 "	"
2月末	広谷小学校	第5回 " (予定)	"
5月2日(火) ~ (6回) 2月6日(火)	第二中学校	府中市立統合小・中学校開校 準備会	PTA・市教委 教職員

2 成果

研究三部会

(教科・学び方)

- ・小・中学校の教員で、一緒に部会ごとの指導案検討を行い、小中それぞれの立場で学習内容や学び方についての意見交流ができた。
- ・乗り入れ授業での授業交流を通して学び方の交流ができ、小学校同士のベクトルを揃えるのに有効であった。また、小中の学び方の系統性を知ることができた。

(キャリア・道徳)

- ・キャリア・道徳のカリキュラムを作成することができた。

(生徒指導)

- ・小中の生徒指導の基本的スタンスの違いや共通点を見出すことができた。

全体研修・部会・公開研究会

- ・公開研究会や研修に参加し、お互いの学校の研究を知り合え、研究の方向性を明らかにできたのは良かった。
- ・小中それぞれの視点から意見が聞けたことは小中一貫教育について具体的に考えていくのに有意義だった。

行事（挨拶運動、オープンスクール、体育祭文化祭への小学生参加）

- ・諸行事を通して小中教職員および児童生徒が一体感を感じつつある。また、一体化への意識も向上してきている。

「スマイルあいさつ運動」

- ・PTA、児童会、生徒会の積極的な参加態勢ができています。
- ・校門以外でも挨拶する中学生が増えた。
- ・卒業生の様子を見ることができてよかった。また、生徒も久しぶりに小学校の先生に会い、うれしく思っていた。

オープンスクール

- ・児童は、中学生の授業体験や「とらい・やる」太鼓演奏鑑賞などにより、中学校へのあこがれを強くした。

乗り入れ授業（英語）

- ・一年間を通して乗り入れ授業ができよかった。授業の進め方や英語についての専門性、児童の意欲向上など効果も大きかった。

かけ橋の日

- ・中学校の生活を参観し中学生の姿を実際に見ることで、小学校のうちに指導しておくべき内容（ベル着、掃除、給食指導、職員室の入り方など）が把握できた。
- ・それぞれの学校文化をつかんだり、長所をみつけて自校に生かしたりすることができた。また、ギャップを認識することができた。
- ・児童・生徒教職員同士のつながりが深まった。
- ・小学校時代教えてもらった先生が中学校に来られると、成長を見てもらえることにもなり、生徒には刺激になった。

保護者・地域啓発

- ・「小中一貫だより」を発行し、取組みを分かりやすく伝えることができた。

全般的に

- ・教職員互いが知り合う機会を持ててよかった。小中、小小間で職員同士が顔を知り、話ができることは、小中一貫教育を見通していく上で大事なことと思う。
- ・中学校の先生に授業に入ってもらい、児童は中学校の先生も小学校の先生と同様に親しみやすいこと、楽しく授業できることを肌で知り、中学校へ向けての不安より、期待の方が大きくなった様子がうかがえる。
- ・他校（小小間、小中間）の良いところを積極的に取り入れるようになった。
- ・統合が目前となり、教職員に緊迫感が出てきた。また、いろいろな取組みを通して、児童の統合に対する期待感が高まってきた。
- ・お互いの実態について知ることができ、より効果的な一貫指導のあり方について考えを深めることができた。

3 課題

教育研究の充実

- ・共通テーマ「論理的思考力・表現力の育成」に沿った、意義のある連携授業（ねらい・形式など）になるようにさらに工夫をしたい。
- ・「中学校教諭の専門性を生かす」ということはどうすることなのか、小中のカリキュラムの中でどうすれば中学校の専門性を入れることができるか、などさらなる研究の必要性を感じる。
- ・連携をする時間（授業前・授業後研修）を確保し、研究討議を深めたいが時間の制約が大きい。また、校内研修にもっと参加したいが態勢づくりが難しい。
- ・市で取組んでいる小中一貫カリキュラムについて、部会でもっと議論したい。
- ・「問題解決型学習」「学習規律」についての具体像が小中で違う。9年間という視点でさらに検討し、そのことをもとにTTや乗り入れ授業をする必要がある。
- ・生徒指導についての小中交流や、一貫校での組織としての具体的な対応等が全員の者となるように研修を組みたい。

かけ橋の日

- ・実施に当たっては、一日教室を開けることのリスクや時間割上の無理などのないように配慮すべきである。
- ・学期毎に気づきのまとめをしたが、もっと課題交流の時間を確保したい。
- ・日常の児童生徒の行動傾向などを十分に把握していないと生活指導を遠慮しがちになる。

行事

- ・行事の意義をさらに明確にしたい。やってみようから、工夫しようという時期になっている。児童生徒の様子から何を学び、何を課題とするのかなど次のステップに進みたい。
- ・異年齢交流を工夫したい。

乗り入れ授業（英語）

- ・授業の組みやすさを考え、同じ曜日にそろえたい。そのことで計画的に打ち合わせの時間が確保できる。
- ・活動内容をもっと交流できる場を持ちたい。

保護者・地域啓発

- ・一貫校の具体的なことがよく分からず、不安な思いをしている保護者も多い。開校まで後一年でもあり、関係機関と連携して情報を公開していきたい。

全体的に（一貫校に関わることも含めて）

- ・次年度は移転・統合がある。そんな中「かけ橋」「乗り入れ授業」「会議」などを増やすと校内の仕事に支障がでてしまう。研究組織と方法について工夫したい。特に、児童・生徒と接する時間が減り、人間関係が希薄になるというようなことは避けなければならない。
- ・一貫校の全体像が今ひとつ見えないところに不安が残る。（細かなきまり、態勢も含めて）学習規律など必ずそろえることは早めに確認したい。また、メリットはもちろん、デメリットについても整理しておき、備えたい。
- ・教育研究構想を次年度中に立てておかないと、開校に間に合わない。
- ・指導の軽重が小中で違う実態があり指導の継続性に不安を持つ。勤務実態の違う小中教職員が一緒に職員室にいることになることも不安である。小学校と中学校の教職員の意識統一に向けて、すべきことをしぼって取組んでいく。
- ・英語活動と英語学習とのギャップをどのように埋めていくのか不安が残る。旭小学校との兼ね合いはどうするのか、小学校1～4年生の英語活動はどのようにしていくのか、なども整理しておきたい。
- ・小中一貫カリキュラムの効果的な活用法についてさらに工夫したい。
- ・小学校同士での児童の交流や職員の連携が必要である。